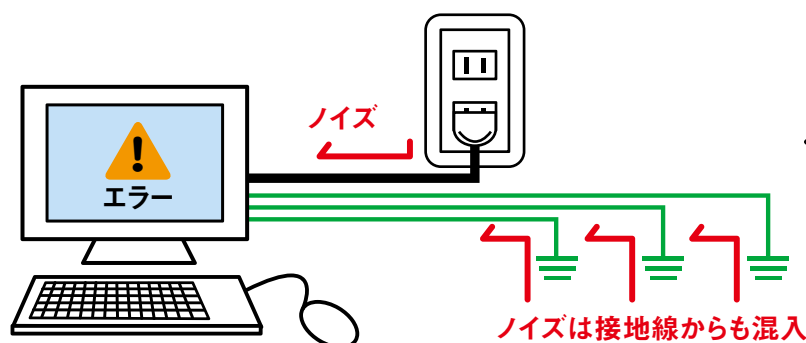


接地線に流れるノイズが信号線に影響

ノイズを見える化すれば、対策が見えてきます

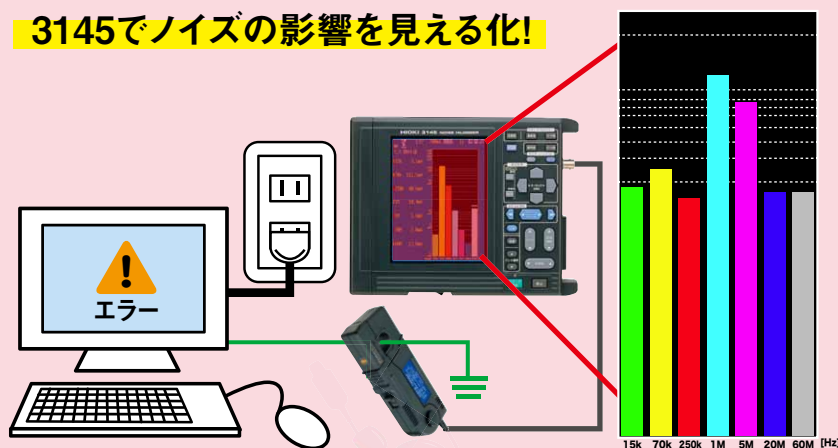
■ポイント

- インバータなどのノイズが原因で信号線が異常な波形になり、誤動作につながる場合があります。
GP-IBやUSBの信号が伝わらず機器を制御できなかつたり、パルス信号が崩れると正確にカウントできなくなります。
- ノイズ源を探すとき、接地線から混入するノイズを忘れがちです。
ノイズ強化のために接地線を追加する対策が取られますが、接地線から混入するノイズの経路を増やすことになり逆効果の場合があります。ノイズハイロガー3145を使えばアース線、通信線、電源線の電流ノイズをリアルタイムにスペクトル表示し、ノイズを可視化することができます。
- 3145の測定結果によりアース線からのノイズが問題であることがわかると、
1点接地とし、その線にアースラインノイズフィルタ(株式会社グランドナイト社製)をつける対策例があります。
- 3145により対策前後の電流ノイズスペクトラムを比較することにより効果を確認することができます。

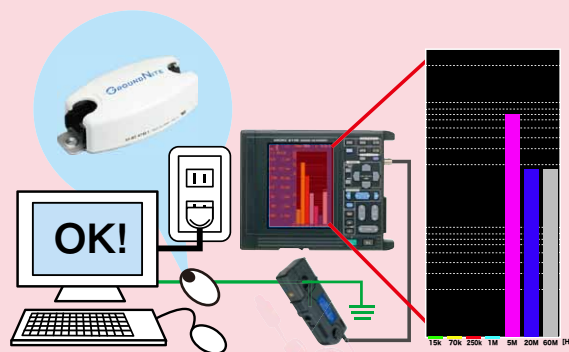


ノイズ強化のために
増やした接地線が
混入するノイズの経路となり
逆効果になる場合があります

接地線を1本に絞り、ノイズハイロガー 3145でノイズの影響を見える化!



アースラインノイズフィルタを設置し、
ノイズの影響をシャットダウン。
ノイズハイロガー3145で結果を確認。



アースラインノイズフィルタについては株式会社グランドナイトにお問い合わせください。(http://www.groundnite.co.jp/goods/index.htm)

使用機器

ノイズハイロガー3145	¥324,000 (税込¥340,200)
クランプオンノイズセンサ9754	¥126,000 (税込¥132,300)